

中学部 3年 生活単元学習 学習支援案

1 単元名 「校内実習 働いてみよう 室内作業」—キャンドル作り—

2 単元目標

- ・ 仕事をして給料を得るという働く生活を経験する。
- ・ 自分の担当する仕事分かり、自ら仕事に取り組むことができる。
- ・ 働くこと(作業)の楽しさや厳しさを味わいながら、継続して仕事に取り組む力を身に付ける。

3 単元計画 1 学期 (1 週間・午前中) 2 学期 (2 週間・全日)

- (1 学期) 継続して仕事をする事で、一人でできること・支援を受けながらできることを増やし自ら働こうとする意欲を高める。
校庭掃除をして得た給料 (30 円) を貯金して、自分でジュースを買うことで働くこと・報酬の喜びを経験する。
作業所見学を通して、先輩たちの働く姿や働く場所の雰囲気を知る。
- (2 学期) より継続して仕事をする事で、自分が担当する仕事分かり、自ら働こうとする姿を増やす。
校庭掃除と室内作業を継続して行い、一日働くことでより社会生活に近づいた経験を積む。
仕事をして得た給料 (100 円) を貯金して、レストランで食事をする事で働くこと・報酬の喜びを経験する。
室内作業で作上げたものを、身近な人にプレゼントして喜んでもらったり模擬販売をしたりすることで働く喜びを体験する。

4 生徒の実態と目標

生徒	一年間でめざす姿	単元についての実態	単元の目標	本時の目標	支援方法	評価の観点
Aさん	・日常的な活動や見通しをもった簡単な活動は、ひとりで自信をもって取り組むことができる。	・活動内容はほぼ理解できている。 ・教師の関わりを待ち、本人が意図するときに関わりをもたないと情緒的に不安定になることがある。 ・情緒面が安定しているときは、集中して意欲的に活動に取り組むことができる。	・担当する活動内容が分かり、できるだけ一人で取り組むことができる。 ・貯金した給料で買い物や食事をすることを楽しみにして、落ち着いて活動に取り組むことができる。	・できるだけ活動の場から離れず、落ち着いて担当する仕事に取り組むことができる。 型はずし ラッピング袋の準備 キャンドルの袋詰め	・一人でできる仕事内容を組み合わせて活動に変化をつけ、出来上がりを楽しみながら取り組めるようにする。 ・写真カードで仕事内容や手順を示し、教師の少ない関わりで落ち着いて仕事に取り組めるようにする。	・活動に取り組む様子 自主的：O 声かけ：V 行動支援：T 拒否：N ・活動の場から離れたりトイレに行ったりした回数

生徒	一年間でめざす姿	単元についての実態	単元の目標	本時の目標	支援方法	評価の観点
Bさん	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的な活動や慣れた活動は、指示がなくても自発的に活動に取り組み始めることができる。 ・友達との関わりを楽しむことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・予め活動場所や活動内容を伝えるとよく理解し、意欲や期待感をもつことができる。 ・一人でできることも教師の関わりを求め、声かけや促しを待ち活動が滞ることもあるが、楽しみながら活動に取り組み、できたことには達成感を感じることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動場所や活動内容に慣れ、自信をもって一人でできることを増やす。 ・一人でできる活動は、自ら取り組み始め、最後までやり終えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・開始時間になったら自ら活動に取り組むことができる。 ・担当する仕事には、自信をもって最後まで一人で取り組むことができる。 袋のシールはり メッセージカード入れ キャンドルの袋詰め	<ul style="list-style-type: none"> ・できる自信がある仕事から始まるように活動内容を準備する。 ・袋のシール貼りは、シールの貼る位置が分かるように支援ツールを準備する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動に取りかかるまでのきっかけ 自主的：O 声かけ：V 行動支援：T 拒否：N 5分経過後V、7分経過後Tの支援を行う。
Cさん	<ul style="list-style-type: none"> ・時計を手がかりにして自分から次の活動に取り組むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の内容や流れが理解できれば、自分のもっている力を発揮して活動に取り組むことができる。 ・いろいろな道具に興味・関心が高く、使い方をすぐに覚え一人で上手に使用することができる。 ・自分の仕事だという担当意識が芽生えたと、手順や最後まで一人でやり通すことにこだわりを示す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の流れを理解して活動の始まりや終わりの時間を時計で確認しながら、自ら活動に取り組んだり休憩したりすることができる。 ・活動内容に必要な指示は受け入れることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全に気をつけて、削りろうそくを湯煎で溶かし、型に流し込むまでの仕事に一人で取り組むことができる。 削りろうそくの計量 ろうそく溶かし 型流し込み 芯入れ	<ul style="list-style-type: none"> ・量りとり削りろうそくの量が明確にわかるように、計量器の目盛りには印を付けておく。 ・作るキャンドルの色と量りや流し込みに使用するボールの色を同じにすることで、何色のキャンドルを作るのか意識付けをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全に気を付けてキャンドルを作ることができたか。 ・作業に必要な指示を受け入れることができたか。(場面明記) 声かけ：V○ or V× 行動支援：T○ or T×
Dさん	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の活動すべき場所で落ち着いて作業や学習に取り組むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい活動や苦手意識がある活動には取り組むまでに時間がかかることもあるが、一人でできるという自信があることには、意欲的に取り組むことができる。 ・周囲が気になり、活動の場から離脱しがちである。 ・働くことが報酬につながることはほぼ理解できており、活動意欲につながっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の内容を理解し、できるだけ一人で取り組むことで達成感を味わい、自信をつけていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・開始時間になったら自ら活動に取り組むことができる。 ・担当する仕事は場を離れずに、最後まで取り組むことができる。 カード作り 削りろうそく シーラーがけ	<ul style="list-style-type: none"> ・開始直前に仕事内容を実物で見せ、確認する。 ・周囲に気が散らないように場の設定に配慮する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の場から離脱しようとした回数 ・活動の場に戻ったきっかけ 声かけ：V 行動支援：T 拒否：N

生徒	一年間でめざす姿	単元についての実態	単元の目標	本時の目標	支援方法	評価の観点
Eさん	<ul style="list-style-type: none"> 活動に見通しをもち、できるだけ落ち着いて過ごすことができる。 言葉や写真カードなどで、自分の簡単な欲求や要求を伝えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動内容が理解できれば一人で集中して取り組むことができる。 発作が起こる前兆時は情緒的に不安定になり、大声を出したり飛び跳ねたり寝転んだりして、行動抑制が難しいことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動の場や内容に慣れ、一人で活動に取り組むことができる。 貯金した給料で買い物や食事をすることを楽しみにして、落ち着いて活動に取り組むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の仕事分かり、自ら取りかかることができる。 一つの仕事が終わっても場を離れずに次の仕事に自ら取りかかることができる。 カード作り ろうそく削り	<ul style="list-style-type: none"> 開始直前に仕事内容を実物で見せ、確認する。 必要に応じて写真カードの手順書や実物見本を準備する。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動の場から離脱しようとした回数と活動の場に戻ったきっかけ 活動に取り組むまでのきっかけ 自主的：O 声かけ：V 行動支援：T 拒否：N
Fさん	<ul style="list-style-type: none"> 一日のスケジュールを理解し、落ち着いて過ごすことができる。 友達との関わりを増やしなが、学校生活を楽しむことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 予め活動内容や活動量を回数提示などの具体的な方法で知らせると、提示されたことは最後まで取り組むことができる。 時間いっぱい活動に取り組むことは苦手である。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動時間と内容を理解し、少ない支援でできるだけ時間いっぱい活動に取り組むことができる。 貯金した給料で買い物や食事をすることを楽しみにして、落ち着いて活動に取り組むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 仕事の内容が分かり、自ら取りかかることができる。 仕事に最後まで取り組むことができる。 型はずし カード作り キャンドルの袋詰め	<ul style="list-style-type: none"> 仕事別にカゴを分け、開始直前に仕事内容を実物で見せ、確認する。 集中して仕事に取り組む、早く仕事が完了しても、できたことを賞賛して終わる。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動に取り組むまでのきっかけ 自主的：O 声かけ：V 行動支援：T やり終えた仕事量 落ち着いて活動に取り組めた時間
Gさん	<ul style="list-style-type: none"> 一人でできる活動や場を増やす。 活動に集中できる時間を延ばす。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動内容や一連の活動の流れは大まかに理解できている。 集中が持続している時間は短い、活動を一人でしようとする意欲がある。 活動が終わったときには達成感を感じている。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動の場所・内容に慣れ、できるだけ一人で活動に取り組むことができる。 活動に落ち着いて取り組める時間を延ばしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の仕事分かり、自ら取りかかることができる。 15分間は、仕事に取り組むことができる。 カード切り 袋入れ シーラーがけ	<ul style="list-style-type: none"> 一人で取り組める仕事や、興味がある仕事から始めるようにする。 活動の場に落ち着けないうときは、キャンドル紹介に出かける。 	<ul style="list-style-type: none"> 開始から継続できた活動時間 目標時間継続：◎ 活動を中断したが促しで目標時間まで活動：○ 途中で活動を中断：△
Hさん	<ul style="list-style-type: none"> 苦手意識がある嫌な活動や、新しい活動にも少しずつ取り組みながら、集団の中で落ち着いて過ごすことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 新しい活動や労働活動は苦手意識が強く、大きな声で泣いて拒否の態度を示すことが多い。 やり慣れた自信がある活動は、手順や工程が分かれば予め準備した量を一人で取り組むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 貯金した給料で買い物や食事をすることを楽しみにして、嫌な活動にも自分のペースで取り組むことができる。 短時間でも自分の担当した仕事に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 短時間でも自分の担当した仕事に取り組む。 ろうそくの芯取り カード作り 	<ul style="list-style-type: none"> 心理的に負担にならない量の仕事を準備する。 活動の場の後ろに休憩コーナーを設け、情緒面の安定を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 作業場までの移動 自ら：O 声かけ：V 拒否：N 泣く：C 活動状況 自ら：O 声かけ：V 拒否：N 泣く：C

5 本時の流れ

○月○日○曜日○:○~○:○ (○時限目) 場所: ○○○

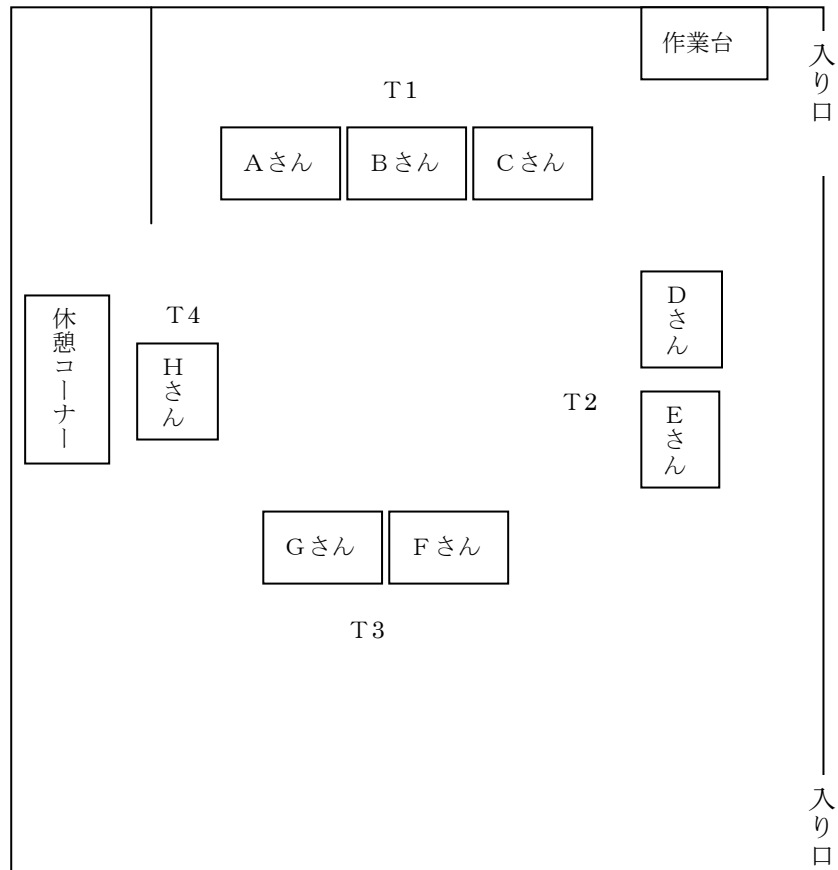
		Aさん	Bさん	Cさん	Dさん
本時の目標		○できるだけ活動の場から離れず、落ち着いて担当する仕事に取り組むことができる。	○開始時間になったら自ら活動に取り組むことができる。 ○担当する仕事には、自信をもって最後まで一人で取り組むことができる。	○安全に気をつけて、削ったろうそくを湯煎で溶かし、型に流し込むまでの作業に一人で取り組むことができる。	○開始時間になったら自ら活動に取り組むことができる。 ○担当する仕事は場を離れずに、最後まで取り組むことができる。
配時	学習の流れ	学習活動および支援			
13:30	はじめのあいさつ	各グループで作業カゴ他を机上に準備する。はじめのあいさつをする。仕事を開始する。			
13:35	仕事準備の確認 仕事開始	<p>理本時の仕事を一緒に写真カードと実物で確認する。</p> <p>前前回作ったキャンドルの型だし</p> <p>技型からはずしたキャンドルくずが床に落ちないようにトレイ上で仕事をするようにする。</p> <p>ラッピング袋にシールを貼る</p> <p>技シールを貼る位置が分かるように支援ツール①を使う。</p> <p>ラッピング袋にカードを入れる</p> <p>技カードを入れる向きが分かるように実物見本を置いておく。</p> <p>キャンドルを袋に入れる</p> <p>技3色組で入れること、キャンドルの上下が分かるように実物見本を置いておく。</p> <p>意シール貼りからキャンドル入れまで流れ作業で一袋ずつ仕上げる</p>	<p>意事前に自ら仕事に取りかかるように励ましておく。</p> <p>ラッピング袋にシールを貼る</p> <p>技シールを貼る位置が分かるように支援ツール①を使う。</p> <p>ラッピング袋にカードを入れる</p> <p>技カードを入れる向きが分かるように実物見本を置いておく。</p> <p>キャンドルを袋に入れる</p> <p>技3色組で入れること、キャンドルの上下が分かるように実物見本を置いておく。</p> <p>意時間内に仕事が完了できると思われる無理のない仕事量を準備し、達成感から自信をもてるようにする。</p>	<p>理ボールの色で作るキャンドルの色が分かるように色を合わせておく。</p> <p>削ったろうそくを180g量る</p> <p>理量りの目盛りに印をつけておく。(支援ツール②)</p> <p>鍋に移す</p> <p>湯煎でろうそくを溶かす</p> <p>環ホットプレートの電源入れと温度設定は教師ですてしておく。</p> <p>削りクレヨンで色をつける</p> <p>流し込み用ボールに移す</p> <p>型に流し込む</p> <p>芯を入れる</p>	<p>環ろうそく削りをするのでシートを場に敷いておく。</p> <p>環周囲が気が散らないように場の設定や教師の位置に配慮する。</p> <p>意事前にどの順番で仕事に取り組むのか本人の意思を確認し尊重することで意欲を引き出す。</p> <p>カードの台紙に両面テープを貼る</p> <p>技台紙のテープを貼る位置に印をつけておく。</p> <p>ろうそくをピーラーで削る</p> <p>技ろうそくは大きめのものを準備しておく。</p> <p>環怪我をしないように、ろうそくが小さくなったら次のものに替えるように促す。</p> <p>キャンドル入りの袋のシーラーがけ</p>
14:15	おわりのあいさつ ・成果の確認	作業カゴ他を簡単に片づける。今日の成果を各グループで発表する。おわりのあいさつをする。			
14:20	・おわりのあいさつ				

環環境面への支援
 理理解面への支援
 技技能面への支援
 意意欲面への支援

		Eさん	Fさん	Gさん	Hさん
本時の目標		○自分の仕事分かり、自ら取りかか ることができる。 ○一つの仕事が終わっても場を離れず に次の仕事に自ら取りかかることが できる。	○仕事の内容が分かり、自ら取りかか ることができる。 ○仕事に最後まで取り組むことが できる。	○自分の仕事の内容が分かり、自ら取 り組もうとすることができる。 ○15分間は必要な支援を受けなが ら、落ち着いて仕事に取り組むこと ができる。	○短時間でも自分の担当した仕事に 取り組む。
配時	学習の流れ	学習活動および支援			
13:30	はじめのあいさつ	各グループで作業カゴ他を机上に準備する。はじめのあいさつをする。仕事を開始する。			
13:35	仕事準備の確認 仕事開始	<p>理仕事別にカゴを準備し、本時の 仕事内容や量を実物と写真カー ドで明確に知らせる。</p> <p>技カードの台紙に両面テープを貼る 台紙のテープを貼る位置に印を つけておく。</p> <p>理見本をセットしたトレーを準備 する。(支援ツール③)</p> <p>技ろうそくをピーラーで削る ろうそくは大きめのものを準備 しておく。 環ろうそくが小さくなったら次の ものに替えるように促し安全面に 十分気をつける。</p>	<p>理仕事別にカゴを準備し、本時の 仕事内容や量を実物と写真カー ドで明確に知らせる。</p> <p>技前回作ったキャンドルの型だし 型からはずしたキャンドルくず が床に落ちないようにトレー上 で仕事をするようにする。</p> <p>理見本をセットしたトレーを準備 する。(支援ツール③)</p> <p>技キャンドルを袋に入れる 3色組で入れること、キャンド ルの上下が分かるように実物見本 を置いておく。 ※ろうそくをピーラーで削る 本時の仕事はキャンドルの袋入れ までであるが、仕事完了後、さら に時間いっぱい取り組む意欲があ るときに行うようにする。</p>	<p>意予定する仕事内容や順番は写真 カードで提示するが、本人の意思 を尊重する。</p> <p>技裁断機でメッセージカードを切る 紙がずれないように裁断機に補 助具を取り付けておく。 (支援ツール④)</p> <p>技キャンドルを袋に入れる 3個ずつ入れることを目標に し、キャンドルの向きなどは、教 師が支援する。</p> <p>技キャンドル入り袋にシーラーをかける 電源は教師で入れておく。 技袋をセットしやすいようにシー ラーに補助具をつけておく。 意活動に落ち着いて取り組めない ときは、キャンドル紹介に出かけ る。</p>	<p>環情緒が安定していないときは、 図書室でしばらく休憩をして、落 ち着いてから教室に入る。 意心理的に負担にならない量の仕 事を準備する。 理写真カードで仕事の内容と順番 を提示する。</p> <p>技割ろうそくの芯だし ろうそくを縦に切り、芯をはず しやすくしたものを準備する。</p> <p>意台紙の両面テープの角を少しめ くって置き、落ち着いて仕事に取 り組めるようにする。 環活動の場の後ろに休憩スペー スを設け本人のペースで活動に取り 組めるようにする。</p>
14:15	おわりのあいさつ ・成果の確認	作業カゴ他を簡単に片づける。今日の成果を各グループで発表する。おわりのあいさつをする。			
14:20	・おわりのあいさつ				

環環境面への支援 **理**理解面への支援 **技**技能面への支援 **意**意欲面への支援

6 場の設定



支援ツール①



支援ツール②



支援ツール③



支援ツール④

